児童発達支援及び放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果

公表日: 2021年 3月 31日

事業所名:ピタゴラ未来塾須磨

×	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育に必要なスペースを確保している	「はい」(出来ている)の評価6割	空間利用の工夫を行い充分なスペースを確保して療育を行っていく。
環境・体	2	職員の適切な配置	法令に基づいた人員の配置を行っている	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も職員のスキルアップに努め、手厚い 人員配置を確保していく。
制整備	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、 情報伝達等に配慮した環境など障害の特性 に応じた設備整備	適切な設備整備を行っている	「はい」(出来ている)の評価8割	視覚支援を行う等、予め排除できる危険を 無くしている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナ対策の一環として、室内の換気・消 毒、空気清浄機の導入、ペーパータオルの 導入などの取組をしている。	「はい」(出来ている)の評価9割	今後もコロナ感染対策を徹底し適切な生活 空間を維持していく。
	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に2回のスタッフミーティング。1日3回の ミーティング(朝礼・昼礼・終礼)を行い、話し 合う機会を設けている。		
業務改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善 の実施	実施なし		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の 確保	実施している		
適切	4	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上での 児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画の作成	保護者への面談の機会を作っている アセスメントを丁寧に行い、ニーズや課題を 基に個別支援計画を作成している。	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も適切なアセスメント実施や保護者面 談の実施により、ニーズ・課題の分析を行い 個別支援計画の作成・更新を行っていく。
な支援の	2	活動を適宜組み合わせた児童発達支援又	利用者の特性を鑑みながら興味に合わせて 適切なプログラムに参加するように助言して いる	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も利用者の特性を鑑み、必要な個別・ 集団プログラムを実施し、適宜組み合わせ 適切な支援を提供して行く。

-	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画における子どもの支援に必要な項 目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に記載している	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も適切な支援項目・支援内容を記載し た個別支援計画を作成していく。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画に沿った適切な支援の実施	それぞれの個別支援計画を職員間で共有し、目標を念頭においた支援を実施している	「はい」(出来ている)の評価9割	常に全職員が児童の目標を、意識して支援 出来る様、周知していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティングで企画を出し合い、プログラム立 案を行い、季節・年中行事等に照らしたプロ グラムを作成している		
適	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やか な支援	長期休暇や休日は、平日行えない趣向を凝らしたプログラムや一日プログラムを提供するなど、利用者の利便性を考慮した支援を 行っている。		
切な支援の提	7		繰り返す事で定着を図るプログラムもあるが、その中でも内容を精査、検討し提供している それ以外のプログラムにおいては毎回違った内容を提供している	「はい」(出来ている)の評価9割	利用者の興味が継続していき日々新たな体 験の機会を提供していくプログラムを創設し ていく。
提供t(続き	8	支援開始前における職員間でその日の支援 内容や役割分担についての確認の徹底	開始時のミーティングで本日の支援内容や 役割分担を確認している		
さ)	9	支援終了後における職員間でその日行われ た支援の振り返りと気付いた点などの情報 の共有化			
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底 や、支援の検証・改善の継続実施	サービス提供記録を記入しサービスが適切 であったか話し合っている		

区	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達 支援計画又は放課後等デイサービス計画の 見直し			
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当 者会議へり参画			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
関係機関	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	実施なし		
関との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	中		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進			
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども 園、幼稚園等との交流や、放課後等デイ サービスの場合の放課後児童クラブや児童 館との交流など、障害のない子どもと活動す る機会の提供	実施なし	「いいえ」「わからない」の評価8割	必要であれば実施を検討する。

区	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地 域に開かれた事業の運営	地域のボランティア活動に訪問を依頼するなどし地域資源の活用を目指している		
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧 iな説明	契約時、支援計画の更新の面談時、質問が あった時など必要に応じて丁寧に説明してい る。	「はい」(出来ている)の評価9割	引き続き適切に実施していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサー ビス計画を示しながらの支援内容の丁寧な 説明	契約時、支援計画の更新の面談時、質問があった時など必要に応じて丁寧に説明している。	「はい」(出来ている)の評価8割	引き続き適切に実施していく。
/B		保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対するペアレント・トレーニング等の 支援の実施	なし	「はい」(出来ている)の評価6割	今後要望があれば実施を検討する。
保護者への		子どもの発達の状況や課題について、日頃 から保護者との共通理解の徹底	毎回、帰りの送迎時に保護者に本日の様子を伝え、共通理解に努めている。	「はい」(出来ている)の評価10割	丁寧に振り返りを伝え、日頃からの保護者と の共通理解に努める。
説明責・	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からご相談のご要望がある場合に は、定期的な面談の機会に限らず、個人面 談等提案、実施している	「はい」(出来ている)の評価8割	保護者からの相談の要望があるときには定期的な面談の機会に限らず、個人面談等、 提案、実施していく。
連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施なし	「いいえ」「わからない」の評価9割	必要であれば実施を検討する。
1200		子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	実施している	「はい」(出来ている)の評価7割	引き続き適切に実施していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮	適宜、終礼などで職員に伝えている	「はい」(出来でいる)の評価9割	引き続き適切に実施していく。

区	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報についての子どもや 保護者への発信	実施している スケジュール、お知らせ等を毎月発信	「はい」(出来ている)の評価9割	ホームページの積極的な活用なども含め、 今後定期的な会報等の発行も検討する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫を使用し、個人情報を記載した 書類を管理している。 また廃棄する際は、その都度シュレッダーを 使用している。	「はい」(出来ている)の評価9割	引き続き適切に実施していく。
		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアル策定済。	「はい」(出来ている)の評価9割	今後も情勢に合わせた定期的な内容のアップデートとそれに基づく研修等の実施、保護者への周知に努め、緊急時の対応の充実を図っていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、 救出その他必要な訓練の実施	年2回、防災訓練を実施。	「はい」(出来ている)の評価7割	引き続き、半年ごとの避難訓練を実施し、今後実施したことを保護者等にお知らせに掲載することで周知を徹底する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保 等の適切な対応	年に1回職員に研修を実施。		
非常時等		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	なし		
の対応	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師 の指示書に基づく適切な対応	なし		
		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内で の共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、内容を検証す るなど、職員間で再発防止に向け周知徹底 を行っている。		
		子どもは通所を楽しみにしているか	楽しんでもらえるようにプログラムを工夫して いる。	「はい」(出来ている)の評価7割	引き続き、児童や保護者のニーズ・課題を聞き取り、個々に対応したきめ細やかな支援に取り組んでいきます。

区分	分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6		多角的な視点から客観的に自事業所を見る ようにし、満足してもらえるように考えてい る。	「はい」(出来でいる)の評価9割	引き続き、児童や保護者のニーズ・課題を聞き取り、個々に対応したきめ細やかな支援に取り組んでいきます。